

77 35 511
(77 B 51)

特 許 庁
特 許 公 報

特 許 公 報 告
昭32-5354

公告 昭 32. 7. 24 出願 昭 30. 9. 13 特 許 第 203-24351

発 明 者 中 根 孝
同 姓 鈴 大 末 吉
同 姓 平 佐 良 介
出 願 人 横浜護製造株式会社
代理人 弁 理 士 大 西 冬 彦

東京都港区芝田村町5の9 横浜護製造株式会社内

同 所
同 所
東京都港区芝田村町5の9

(余 2 頁)

正圧封滅帯を有するデュープレス・タイヤ

図 面 の 略 解

第1図は本発明を実施せるデュープレス・タイヤの軸方向断面図、第2図乃至第5図は各種の補強手段を示せる斜視図である。

発明の詳細なる説明

従来正圧封滅帯を有するデュープレス・タイヤでは気密手段として、ラビリンスパッキングとしてのU形槽を有するゴムシートを以つてしたのであるが、かような気密手段を有するタイヤにあつては、デュープレス・タイヤの側壁の内側にタイヤビード部に於けてのリム面との間を封滅するにタイヤビード内側の内壁面よりリム裏面に及ぶゴムシートを張りめぐらしたビード内壁に面する部分には特に平織ゴム布をあわせ貼りつけたのであるが、これではゴムシート自体に初期張力の差を有しないが、又はたとえ有していても極めて少いのをタイヤの運用中、時には気密保持に困難をきたすに至る、本発明はこの封滅のためのタイヤビード内壁に対する部分のゴムシート自体に金属質、金属コードなどを埋めこんで増強すると共に初期張力差を与へるべくしたものである。

これを要図について説明すれば、第1図中1は封滅ゴムシート、2はゴムシート1に埋め込まれた補強用金属リングでこの金属リングの初期張力

差を利用し、タイヤ内腔の空気圧と共に封滅ゴムシート1をビード内壁4の部分に接せしめて気密を保つ、3は更にゴムシートに弾性を持たせるために埋込んだ金属シートである。第1図に示す補強材としてはコイルバースプリングを埋め込んだものであるが之を拡大図したものが第2図である。第2図中3は金属シートであるがこれには必要に応じて入れるべきものである。第3図乃至第5図は本発明の他の実施例として示したもので補強並びに初期張を与える材料として第3図は金属ローヤ5を入れたもの、第4図は波型金属ワイヤ6を入れたもの、第5図では波型金属シート7を入れている、以上の各例では金属材料は初期張力差を与え、と共に封滅パンドのずり落ちるのを防いでいる。

特 許 請 求 の 範 囲

本文に詳述するように封滅手段を有するデュープレス・タイヤにおいて、タイヤの同ビード部に跨りリム上にリムとビードとの間を気密に保つべき弾性材よりなる封滅装置を具え、該封滅装置のビード内壁に対する部分にはその装置の外縁に沿うて弾性ある金属材料を埋めこんだことを特徴とする正圧封滅帯を有するデュープレス・タイヤ。

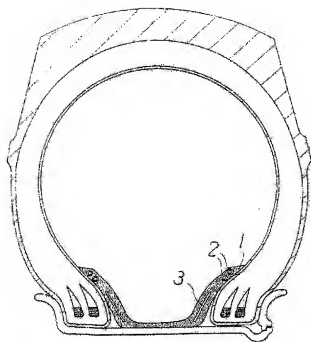
Japanische Patent-Auslegung Sho-32-5354 vom 24. Juli 1957

(Anmeldung Nr. Sho-30-24351 vom 13. September 1955)

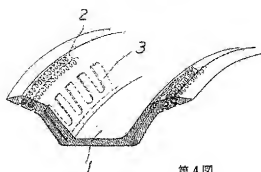
Titel: Schlauchloser Reifen mit einem Druckdichtband

Anmelder: Yokohama Rubber Company, Limited

第1圖



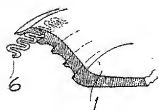
第2圖



第3圖



第4圖



第5圖

